

栗谷ツ遺跡 第59地点

遺跡名	栗谷ツ遺跡
よみがな	くりやついせき
調査地点	第59地点
主な時代	縄文時代中期（約4500年前）
調査地	富士見市大字水字北別所4974番4番地
調査面積	約21.4㎡
調査期間	令和2年8月28日～9月1日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代中期の竪穴住居跡1軒、埋甕1基</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文時代中期の土器</p> <p>【概要】</p> <p>栗谷ツ遺跡は、栗谷津公園内の湧水から柳瀬川へと伸びる小支谷「栗谷ツ不動の流れ」の北側、みずほ台駅から南東へ約300mの地点に位置しています。</p> <p>これまでの調査によって、旧石器時代、縄文時代早期、中期～後期、弥生時代後期～古墳時代前期初頭、平安時代の遺構や遺物が多数確認されています。</p> <p>今回の調査で確認された縄文時代中期の竪穴住居跡は、近現代の開発等による掘削の影響を受けており残存状況は良くありませんでしたが、縄文時代中期の土器である加曾利E式土器の出土が確認できました。住居の脇からは埋甕の出土もあり、住居の出入り口に埋めたものであった可能性があります。</p>



確認された竪穴住居跡（中央）と埋甕（右下）



埋甕の出土状況



竪穴住居跡内で出土した縄文土器